

HORIKAWA 100th

堀川同窓会報

HORIKAWA ALUMNI ASSOCIATION JOURNAL

創刊号・100周年に向かって

発行 京都市立堀川高等学校堀川同窓会

京都市中京区東堀川通錦小路上がる 〒604-8254 tel:075-211-5351

デザイン・印刷 株式会社サラト

兵庫県姫路市北条宮の町172 〒670-0948 tel:079-284-1380 fax:079-224-7746



同窓会会長
市田ひろみ

「未来へ」

私達の母校、堀川高校は2008年創立百周年を迎えることになりました。

百年と一口に言っても太平洋戦争をはさんでの百年はかつて経験の無かった波乱万丈の百年でした。

昭和26年卒業の私にとっても堀川での歳月は多くの思い出にまつまれています。堀川女学校に入り、学制再編の中で他校との合併や男女共学など大きな変化がありました。

終戦後、時代の流れの中で衣類も文房具も充分ではなかったけど、でも生徒達はエネルギーに青春を謳歌していました。

明治41年（1908年）京都市立高等女学校が創設され、

後に堀川高等女学校に改称、昭和23年（1948年）に堀川高等学校が生まれました。

なつかしい校舎は老朽化がすすみ、やがてその姿を消してゆくことになりました。その後、再生をくり返し平成13年（1999年）新校舎への移転とともに入学して来た生徒達を一期生と呼んでいます。でも、明治41年に入学した人も平成17年に卒業した人も堀川は母校です。

堀川高校は、今、輝いています。希望する大学への合格は生徒達の最大の目標です。生徒達にやる気をおこさせる学校として日本中でも、理想の学校になりました。

卒業生の中には政治、文化、芸術の分野で活躍、社会に貢

献をしています。すべては堀川が原点なのです。

毎年、巣立ってゆく卒業生が堀川の卒業生として立派に、その人生を歩いてほしいと思います。

私達同窓会としては、今後も若者達の未来をサポートしてゆきたいと願っております。

大世帯の同窓会で、郵送費も悩みの種ですが役員会の方々がまさにボランティアで作業を下さっています。

同窓会を発展させるためにみな様の御協力、御力添えをおねがいします。又、何か御質問がありましたら御連絡下さいませ。

みな様の御協力で同窓会が大きき力になりますように。



教育長
門川 大作

頑固に守り大胆に変える
~堀川の改革から学ぶもの~

堀川高校が輝かしい伝統を生かしつつ、新たな時代を切り拓くパイロット校として全国が矚目する躍進の中に100周年を迎えられます。京都市の教育一筋に携わってきた者として、また、卒業生として、とても嬉しく、今日まで長年ご尽力頂きました同窓生を始め多くの関係者の方々に感謝の気持ちで一杯です。

堀川高校を訪ねますと、いつも自由闊達な生徒の笑顔に出会います。個性的で創意溢れる先生方の姿に接します。学校が生き生きとし、私たちが学んだ頃と基本的な気質は変わっていないことを実感し、同窓生が築かれてきた伝統の力に感激します。

今、教育改革真っ只中です。京都市教育委員会では、学校現場と共に京都の教育で大切にしてきた理念、例えば堀川高では、生徒の自律性尊重、文武両道などの理念は頑固に守る。同時に時代の変遷や社会の要請に則して変えるべきは大胆に変える。そんな改革に全力投球し、それらの成果が、小中学校教育の充実、障害のある子どもの教育の新たな進展など、多くの分野で着実に現れてくるに至りました。教職員の熱意と保護者・幅広い市民の方々の参画のお陰です。

その象徴の一つが堀川の改革。長年、公立高の長期低落傾向が厳しく指摘され、私立でなければ現役で大学進学できない、との批判までありました。それらの事態を真摯に受け止め、平成7年に市立高改革のため市民参画のプロジェクトが発足。侃々諤々の論議を行

い、市立高改革のパイロット校に堀川が選ばれました。論議も大切だが、先ず先頭を走る学校を作ろう。公立高が生徒・保護者の願いに応えきれぬ学校になろう。しかし、決して「勝ち組」「負け組」のような学校は作らない。先頭を走る学校の実践の成果を市立高校全9校に生かそう。こうした理念で改革はスタート。校舎全面改築の予算を榊本市長と市会の英断で確保して頂き、新学科も設立。しかし、教職員は基本的に異動しない。教職員の意識改革と実践で学校改革を実現する。今から考えると「本当に出来るの?」と疑問符の付く様な偉大な実験でしたが、荒瀬校長始め堀川の教職員一丸となって見事な結果を出して頂きました。そして、今日「堀川高の奇跡」との賞賛が、次に「西京高の奇跡」「銅駝美工の飛躍」等々と工業高校も含め市立高校全体の改革へ大きく深まり広がっている姿に、感謝で胸が熱くなる思いです。人間の能力の差は五倍まで、やる気の差は百倍の結果を出す。堀川の改革で私が実感した言葉です。

格差が大きな社会問題となっている時代に、公立学校の再生こそ、京都の、日本の未来を築く基盤。内閣の教育再生会議や、中教審で京都の教育改革の理念と実践、そして多くの市民の方々の献身的な参画を感謝しつつ発信しています。市田ひろみ会長はじめ同窓生の方々が母校愛に燃えられ応援して頂く姿にも頭が下がり、堀川の改革から学び、更なる京都の教育の前進へと決意しております。

1996
1980

1948

1933

1928

1922

1911

1908

百周年の歩み

京都市立高等女学校 開校

京都市立高等女学校同窓会 結成

京都市立第一高等女学校 改名

京都市立第一高等女学校同窓会 改名

京都市立堀川高等女学校 改名

京都市立堀川高等女学校同窓会 改名

京都市立高等女学校 創立25周年



創立25周年記念 於 都ホテル

京都市立堀川高等学校 制度改革(共学となる)

京都市立堀川高等学校同窓会 改名

音楽課程設置 (10月12日)

音楽科、西京区に音楽分校として移転

「京都市立高等学校21世紀構想委員会」の答申に基づき



学校長
荒瀬 克己

百周年を迎える堀川

同窓会報創刊おめでとうございます。

日頃は母校の教育活動にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

来年平成20(2008)年は、明治41(1908)年に京都市立高等女学校が誕生して百年の節目に当たります。京都市立高等女学校は、後に第一高等女学校、堀川高等女学校と名称変更しつつ誇り高き伝統を重ね、京都の教育史に燦然と輝く女子高等教育を実現しました。

昭和23(1948)年、学制改革により堀川高等女学校から堀川の名を受け継いで新制高等学校となった本校は、その後幾多の変遷を経て現在に至っています。ご承知のとおり、初めのころは多くの学校が統廃合されたことから、学科も普通科・商業科・家庭科などのほか新設された音楽科もあり、校舎も現在地以外にもあるという状況でした。それらが、時代と市民の要請を受けてしだいに変貌します。平成9(1997)年音楽科の独立。平成11(1999)年、現校舎の竣工、普通科に加えて人間探究科・自然探究科の新設、平成13(2001)年定時制閉制。平成17(2005)年本能寺小学校跡地に「本能館」の新設、というように最近でもめまぐるしい動きがありません。

平成8年(1996)年、京都市立高等学校21世紀構想委員会(教育長の諮問機関)からの提言を受けて京都市教育委員会は、堀川高等学校を京都市立高等学校教育改革のパイロット校に指定しました。その結果、校舎新築と

二つの探究科の開設が成りました。平成11年は堀川91年目。伝統という礎に新しいものを積み重ねるにふさわしい年でした。

さて先ごろ、高校第3期生の同窓会が催され、お招きを受けて母校の現状をお話いたしました。75歳になられるという皆さんの大変お元気なご様子に圧倒されました。どなたもが高校時代に返ってそのころの華やいとお声とお顔で、会場内は実に若々しく輝いているのでした。ひととき同席させていただき、私も元気を頂戴いたしました。

それぞれの堀川、ということを思います。校舎や学科や時代は異なりますが、それぞれが堀川で時を過ごし、学び、遊びました。その一人ひとりをつなぐ堀川という名前。いま在校生の生徒たちは叫びます。“We are the HORIKAWAS!”……私たちは堀川の仲間だ!

迎える百年が、確かな新しいものを生み出す契機となるよう願っております。今後新たなページを開いていく母校を、どうぞお見守りください。

2008

2007

2006

2005

2004

2003

2000

1999

1998

1997

パイロット校として校舎全面改築開始

音楽科分校、京都市立音楽高等学校として独立

創立90周年

人間探究科、自然探究科設置

校舎グラウンド等全面改築

新校舎開校に合わせ90周年事業執行

100周年を視野に同窓会再興の為事務局準備室を結成

堀川同窓会委員会開催通知郵送(7月)

同窓会名簿編纂段階に入る

第一回委員会開催(9月25日)

市田ひろみ(高校3回卒)会長就任

第二回委員会開催 副会長4名就任(11月15日)

林道子(高女32回卒)角田潤次(高校2回卒)

平井義久(高校10回卒)増田正蔵(高校18回卒)

同窓会名簿3,666冊を発行(3月)

第三回委員会開催(9月16日)

100周年イベント「小椋佳コンサート」開催(12月17日)

第二校舎、最先端の理科教育設備が整う

「本能館」が元本能寺小学校跡地に竣工

第四回委員会開催(11月21日)

堀川同窓会ホームページ開設(5月)

堀川同窓会報創刊号発行(8月)

堀川高校創立100周年記念コンサート予定(4月19日)

京都市立堀川高等女学校・堀川高等学校創立百周年
堀川高等学校100周年記念コンサート



日時：2008年4月19日(土)

12時開場・13時開演予定

会場：京都コンサートホール

地下鉄北山駅下車

料金：¥5,000 (申込販売は2008年1月)

式典
PROGRAM

堀川賞授与 2007年度卒業生3名

百年を振り返って

語り：壤 晴彦(堀川高校18回卒)

記念コンサート

指揮：佐渡 裕(堀川高校音楽科31回卒)

演奏：兵庫芸術文化センター管弦楽団

祝宴：参加者全員で乾杯(16時30分頃)

堀川賞

100周年を記念して設立
今期より卒業生3名に授与
副賞は金10万円
選考は堀川高等学校長

100周年
寄付金募集

100周年記念寄付金を
大募集いたします
寄付金の振込用紙は来年
1月に発送します



同窓会員・ご家族・ご友人多数お誘い下さい

堀川高校100周年を皆様と共に祝いましょう!!

HORIKAWA
100th





堀川高等学校元校長
米田貞一郎

「堀川」という伝統

京都市立堀川高等学校創立百周年記念に当たって、旧職員のひとりとして、お祝いのごとばを申し述べる機会を与えられました事を心から嬉しく存じます。

一言に百年といいましても、その間、堀川高等女学校から堀川高等学校へと移り変わり、またいろいろ困難な課題があったことは否めません。しかしいつも、その事に当たられた関係各位、学校長始め教職員、生徒諸君はもちろんのこと、同窓生、父母兄弟や地域の皆さん、それに教育行政当局の総力が結集されて、今日の歴史と伝統が築かれた事はほんとうに輝かしいことといわねばなりません。

明治41年(1908)に創設された京都市立堀川高等女学校(当初、京都市立高等女学校)は、京都市民の子女に対して、中正、堅実、品位、活力のある中堅家庭の良妻賢母となることを目指し、また伊藤仁斎・東涯父子が堀川河畔に開いた私塾古義堂に因んで堀川学派復活を意図した庶民教育に力点が置かれました。

そうして培われた校風から、戦前戦中を通して、堀川高女は京都の名門校としてその名を広く知られることになりました。

昭和23年(1948)戦後の学制改革で、旧制中学、高等女学校の統廃合が行われた中、市立堀川高等学校が校舎、校地とともに堀川の

名をそのまま引き継いで再発足することになったのもまた枚ありきといえましょう。男女共学制、総合制、小通学制という三原則に縛られた変革には混乱は避けられませんでした。長い歴史と伝統の上に新たな自由の気風を加えて乗り切りました。

昭和38年(1963)には総合制から普通科のみの単独制、小通学区制も広域制へと遷りましたが、毎年、多い年で7百余名、少ない年でも3百余名の将来有為な卒業生を送り出して来たのです。

平成11年(1999)に至って、21世紀を展望した市立高等学校のパイロット校に指定され、校舎の画期的な全面改築と従来の普通科に加えて「人間探求学科」「自然探求学科」という斬新な二学科の敷設、併せて通学区も京都府全域に広がるという大改革を見ました。

再来、生徒の一人ひとりが個性・能力を伸張り、世の中の変化に適應できる創造性豊かなたくましい人間力の育成を目指し、全校挙げて懸命の研鑽が実を結び、今や名実ともに高校教育界の先進的役割を果たされています。

ここに百年の歴史を省みるとき、堀川高等学校が愈々発展の道をたどり、その伝統に新たな光を加えるであろうことを信じ、心からの祝意を表する次第です。おめでとう。

小原 久子 高女29回卒 東京ゆかり会

私たちの母校である京都市立堀川高等女学校が、来年には創立100周年を迎えることとなり、堀川同窓会関東支部のゆかり会会員一同心よりうれしく存じております。そして100周年に向かってこの度、同窓会報が発行される運びになったとお知らせをいただき、同窓会発展のために何よりのことと、力強くありがたく思います。私は京都より東京へ移って50年になりますが、故郷を離れていますと一層母校のことがなつかしく思われます。

創立90周年の「あ々我が青春の堀川」の誌上に「ゆかり会」からの報告の記事を書きました。毎年、秋には堀川高女卒のなつかしい同窓会の集まりがあります。今年も10月24日に、東京ドームホテルでの「ゆかり会」の集まりを、40回卒の方が計画されています。

来年4月19日の、京都コンサートホールでの、100周年祝賀の式典、そして続いてのコンサートの素晴らしい計画を伺いまして、今から楽しみにしております。

90周年のときに新校舎を見学することができました。設備のよさに感心いたしましたが、なかでも図書館の素晴らしいこと、この環境で学ぶ堀川高校生の成長を確信しました。今年1月荒瀬克己校長先生の「奇跡と呼ばれた学校」朝日新書を押

見いたし、堀川高校の躍進振りを卒業生(先輩)の一人として心より、お祝い申し上げる次第です。



東京ゆかり会 平成14年10月24日 於 八芳園

浅井 健一 高校42回卒

100周年、大変嬉しく思います。楽しみにしております。

西村 太一 高校45回卒

卒業生として、とても誇らしく又幸せに感じます。

井元 愛美 高校59回卒

百周年おめでとうございます。卒業生になれてとても嬉しいです。

小谷 幸子 高女22回卒

堀川高女・高等学校百周年、誠におめでとうございます。又記念創刊の同窓会報に原稿依頼をいただき御礼もうしあげます。

私は、昭和8年3月、堀川高等女学校を卒業以来80年もの長きに渡り、同窓会の委員をさせていただいております。これも偏に「堀川」という学校名が変わることなく、今まで続いてきたお陰だと感謝に絶えません。女学校が共学の高等学校に変わっても「堀川」の名が受け継がれたことは、永遠に繋がる同窓生としての喜びです。

昭和8年4月、卒業の翌月25周年が挙行政、当時の祝賀会の写真（P2掲載）に写る我が姿を見るに、まさか百周年をお祝い出来るなど思ってもみませんでした。

高女時代は、本科5年、専科3年の計8年を堀川の地で学び、思い起こしますに激動の時代であったと存じます。昭和6年満州事変勃発、昭和7年関東への卒業旅行の最中、5・15事件が起こり、東京市中に戒厳令が布かれました。そして、専科卒業間近の昭和11年2・26事件が起きたのを思い出します。しかし、私にとっての堀川時代は我が人生の基礎を創っていただいた素晴らしい時代でした。

堀川高等女学校の卒業生が母体となって発足した「めぐみコース」では今なお3回練習を行っており、ピアノを堀川音楽科31回卒の服部敏明先生が現在担当下さっています。

百周年記念事業が式典後コンサートとお聞きし、とても楽しみに致しております。最後に堀川高校の益々のご発展を心よりお祈りいたしております。

横田早紀江 高校6回卒

堀川高等学校百周年を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。

私共の娘めぐみが13才で北朝鮮に拉致されまして、30年の月日が流れてゆきました。北朝鮮に囚われている事が浮上し、救出活動を始めましてより10年が経過致しました。私共は、日本中を駆け巡り、日本の皆様に拉致問題を熟知して頂く為、1,000回を超える講演会に招かれ救出を訴え続けて参りました。

この間、私共が住むマンションの朝顔の会主催で「めぐみ写真展」を全国的に開催して下さい、京都では母校堀川高校が会場を提供頂き、多くの皆様にご覧頂きました事を大変有り難く感謝致しております。政府のお働きもあり、国連でも展示して頂く事ができました。又、アメリカの映画監督が「アブダクション」と題して映画も制作して下さい、アメリカを中心に日本を初め各国で上映して下さいました。それを知ったアメリカの有名なフォークソング歌手ポール・ストウキーさんが歌を通して拉致解決を働きかけて下さり、こうして拉致問題はやっと国際的に理解して頂けるようになりました。

まるで物語の様な現実が真実でありました事、そしてその事から北朝鮮のこと、日本国の種々な問題が顕されて参りました。

無邪気な青春期、良き母校で、良き師と友に恵まれ堀川高校

大藪 京子 高校3回卒

堀川高校100周年を心よりお慶び申し上げ、益々のご発展をお祈り申し上げます。

福田喜美枝 高校7回卒

高校は青春のすべて、戻れるものなら、もう一度そこに帰りたい。

嶋村 幸子 高校12回卒

来年、米田校長は数え百歳で同窓会に出席なさいます。私達同窓生もぜひ出席を！

北村 茂 高校14回卒

名声や競争より生徒の自主性を重んじた当時の堀高教育は私の誇りです。

上垣 猛 高校20回卒

堀川高校の同窓会の発展を遠く函館の地から祈っております。

白木 靖子 高校27回卒

京都の移り変わりを見守ってきた母校の歴史に感銘いたします。

大井 哲郎 高校31回卒

堀川での3年間は今でも私にとって人生の指針になっています。

宮地 宏至 高校36回卒

伝統ある高等学校の一卒業生として、私も誇りを感じます。



写真展の会場：堀川高校・本能館にて高校時代の同級生らと話す横田早紀江さん（写真は朝日新聞社提供）

で学ばせて頂きました私に、この様な人生が待ちかまえていましたとは、考えられないことでした。

多くの温かいお心に支えられ今日まで歩ませて頂きましたことに心より御礼申し上げます。多くの拉致被害者の一日も早い帰国を願い祈っております。

堀川高校の益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。有り難うございました。

救う会京都連絡先：中村喜代治 高6回卒

TEL・FAX 0774-22-7076



創立100周年を迎え歴史と伝統を受け継ぎ、さらに飛躍する堀川高等学校の歴史と現在をここに振り返り、未来を展望する。

輝かしい歴史と伝統

明治41年4月、「良妻賢母」の育成を目指す屈指の女学校として「京都市立高等女学校」がこの地に設立された。大正11年「京都市立第一高等女学校」更に昭和3年「京都市立堀川高等女学校」に改名され「堀川」の名は今に受け継がれている。初代校長 清水儀六先生は創立25周年記念誌に「本校は京都市民の子女を教育するので、偏せず、傾せず中正穩健堅実、真に品性あり、活力あり市民の中堅たる家庭の主婦として将た第二市民の母として充実せる資格を有せる婦人を養成するこそ本校教育の主眼であるとの方針を立てた。」と述べている。

共学としての再出発

昭和23年4月、学制改革により「京都市立堀川高等学校」となり、10月には通学区域制、総合制、男女共学制の三原則の元、普通科・商業科・家庭科・音楽科を有し設立された。また、城陽高等学校は京都市立堀川高等学校の定時制課程として再編された。昭和26年音楽科が出雲路分校に移転。

昭和28年家庭科を廃止。昭和38年商業科を廃止。音楽科は昭和31年岡崎分校舎に移転、昭和55年洛西大枝に移転し、平成9年京都市立音楽高等学校として独立。

平成11年専門学科（人間探究科・自然探究科）を開設し、普通科と合わせて3学科併置となり現在に至っている。共学となった堀川高校は地域に支えられ自由闊達で誇り高い校風を保持してきた。前身の高等女学校教育の良妻賢母育成に加え第二代校長野田一郎先生は「堀川学派の名を挙げよ」と常に庶民教育に力を入れ、名声をあげてこられた。その校風を受け継ぎ堀川高校は多くの俊秀を数多く輩出し、又数多くのクラブが全国大会に出場するという、文字通り文武両道の高等学校となっていた。

高度成長期に入り大学受験が激化する中、生徒の進路希望実現のため、昭和60年、普通科に類・類型制を導入。普通科と学力伸張コースの 類人文系・理数系が設置される。

市立高校パイロット校に

平成5年以来、多様化する生徒への指導の取り組みから、教職員による学校改革の動きが湧き出はじめる。一方で平成7年教育委員会が「京都市立高校21世紀構想委員会」を設置し堀川高校が教育改革パイロット校に位置づけられる。平成11年「魅力ある普通科と新しい専門学科」を具現化し、普通科・人間探究科・自然探究科が全面改築の校舎のもと展開される。

現在「立志・勉勵・自主・友愛」を校訓として個性尊重、変化と多様化に対応する力、未来を切り拓くたくましい創造性と他者を尊重する豊かな人間性の育成を目標に教育活動が進められている。

平成14年スーパーサイエンスハイスクール（SSH）として文部科学省から研究指定を受ける。「すべては君の『知りたい』から始まる」と名づけての活動は全国のコンテストで高い評価を受けている。日本学生科学賞・ジャパンサイエンスエンジニアリングチャレンジ等で上位入賞・米国気象学会賞（部門世界第一位）等。

堀川高校の未来 / 「堀川の奇跡」は続く

平成14年3月国立大学合格者が前年6名から106名へと大躍進をとげた。いわゆる「堀川の奇跡」である。その後今に至るまで、京都大学・東京大学をはじめとする難関国公立大に多数の合格者を輩出し、京大現役合格率は4年連続全国の国公立高校トップとなる。

しかし、このような進学実績を私達は「奇跡」とは思わない。「奇跡」があるとするなら学校改革を成し遂げたことである。100年という長き時代の変遷の中にありながらも古き良き歴史と伝統・自由闊達な校風・文武両道の精神を守り続け、同窓生の支援と教職員の情熱によって力強い歩みを緩めることなく、学校改革を成し遂げた。その原動力は「堀川高校の精神」である。「堀川高校の精神」はこれからも脈々と受け継がれ「奇跡」を起こし続けるであろう。

堀川高校の未来は同窓生と共に創られていく。

同窓会、クラブ等の情報をお寄せ下さい。FAX：075-211-1526 堀川同窓会宛
<http://www.horikawa-dousoukai.com> 堀川同窓会HP

編集後記 / 100周年の成功を願い皆様のご協力を御願ひします。

追伸 / 硬式野球部OB会からお知らせ

硬式野球部OB会設立50周年親睦試合：H19年11月18日(日) 9:00~14:00

於：伏見桃山城球場 連絡先：075-221-3222 渡辺達雄まで